



ON THE ROAD

SPRING 春

途上にあること

～二中の皆さんへ～

こんにちは。進路指導部では、「生き方学習」に関する情報を定期的にお届けしていきます。今回は、3年生の皆さんへのメッセージですが、1・2年生の皆さんも、いずれ受験を迎えます。進路だよりをしっかり読み、計画的に準備を進めていきましょう。

義務教育の修了まで残り10ヶ月をきりました。将来への希望や不安を抱えながら、中学校生活の残りの時間を過ごしていくことになるでしょう。二中の教職員一同は、皆さんの気持ちに寄り添い、卒業後にどのような生き方を選択したいのか、一緒に考えていきたいと思っています。一年間、よろしくお願いします。

進路だよりのタイトル「ON THE ROAD」は、直訳すると「路上で」という意味ですが、ここではより深い意味をもっています。これは、私が好きな小説『深夜特急』の一節に由来しています。主人公がドイツから来た若者に「禅とは何か」と尋ねられた際、「禅とは…途上にあること (being on the road) …だ」と答える場面があります。この言葉は、進路決定というものが単なるゴールではなく、その先の人生に向けた新たなスタートであることを示唆しています。進路を決めることが目的になってしまうと、その後うまくいかないかもしれません。皆さんには、進路決定を通過点とし、その先の成長を見据えて歩んでほしいと思っています。自分を見つめ、成長させ、作り上げていく「ビーイング・オン・ザ・ロード」、ひとつの旅の終わりは、新しい旅の始まりなのかもしれません。

さて、運動会が終わり、ホッとひと息ついているところで、修学旅行の準備も本格的に始まり、忙しい日々が続きます。そして、気づけば期末考査(6月17日～)が目前です。「こんなはずじゃなかった」と後悔しないよう、中学校最後の行事を楽しみながら、計画的に学習を進めていきましょう。

進路指導主任 植嶋徳彦

1. はじめの一步

～これまでの学習の復習をしよう～

定期考査が近づいていますが、これまでの学習の手応えはいかがでしょう。昨年度の反省を活かし、計画的に学習を進めてきた人は、期待通りの結果を手にするかもしれません。ここで皆さんに考えてほしいのは、ほとんどの教科で考査の範囲に「第2学年までに学習した内容」が含まれていることです。この部分でどれだけ得点できるかが、これからの学習の重要なポイントとなります。

「夏休みを利用して1、2年の復習を終わらせよう」と考えている人も多いと思います。しかし、3年生の7月までに学習した内容の復習も必要になるため、学習量は非常に多くなります。そこでおすすめしたいのは、定期考査が終わったその日から、第2学年までの定期考査の復習を始めることです。

行事の準備や部活動の練習などで忙しく、家庭学習に充てられる時間は1日最大でも3～4時間でしょう。そのうちの30分を過去の定期考査の復習に当ててみてください。たった30分の学習でも、1ヶ月続けられれば15時間になります。この積み重ねが、大きな学力の向上につながります。

過去の定期考査の復習が終われば、1、2年生の学習内容の本格的な復習を開始しましょう。そして、9月の初日、全校集会を迎える時には、自信をもって1、2年の内容を復習し終えた状態になっているよう、今日から一步を踏み出しましょう！



～自分をPRしよう～

「1分間で自己PRをしてください」と言われたら、どんなことを話しますか？自己PRとは、“自分を知らってもらうための宣伝活動”です。宣伝活動である以上、自分の長所を伝えることが重要になります。特技や資格、受賞歴など、自信をもってアピールしましょう。ここでは「自分なんて…」と遠慮する必要はありません。堂々と胸を張り、自分の魅力を伝えてください。

しかし、いざ自分の長所を考えると、なかなか思い浮かばないこともあります。さらに、自分では良さを伝えているつもりでも、誰にでも当てはまる一般的なPRになってしまうこともあります。

上級学校の受験は選抜試験です。面接試験を実施する学校では、多くの受験生の自己PRを聞き、学校の基準に沿って「ぜひ入学してほしい」と思う人を選びます。つまり、ウソや誇張をすることなく、ありのままの自分で「この学校に入りたい」と思わせる自己PRをすることが大切です。

そこで、受験生の皆さんに今すぐ取り組んでほしいことがあります。それは、自分の良さを書き出してみることです。

例えば、

- ○○委員会で△△を務め、□□という経験を得た。
- ○○という資格を取得するために、△△の努力をした。
- ○年間、△△を続けた。



こうして書き出してみると、自分がこれまで頑張ってきたこと、成長してきたことが見えてくるでしょう。逆に、書き出す内容が少なく感じる場合、「この3年間をもっと充実させればよかった」と気づくこともあるかもしれません。

この気づきはチャンスです！中学3年生としての時間をより充実させるために、新しいことに挑戦してみましょう。係活動、委員会活動、奉仕活動、検定試験など、何をやったかではなく、その体験から何を学んだかが大切です。単に名ばかりの役職や、義務的に行った奉仕活動ではなく、主体的に参加し努力した結果、何を学んだかが重要になります。これは、上級学校が主体的に学び、行動できる人を求めているからです。受験直前になって自己PRのために自分を磨くのではなく、今この瞬間から自分を磨くことが、将来につながります。今日から一歩を踏み出しましょう！

～入試情報はこまめに集めよう～

高等学校からさまざまなお知らせが届いています。進路広場や廊下の掲示、配布物などを通じて随時お伝えします。また、東京都教育委員会や私学協会のWebページには、最新の入試情報や奨学金のお知らせが掲載されていますので、併せて確認してください。

●入試情報の集め方のポイント

(1) 東京都教育委員会のwebページ

5月22日付で「令和8年度東京都立高等学校入学者選抜の日程」が公表されています。

推薦に基づく選抜は令和8年1月26日(月)・27日(火)、学力検査に基づく選抜は令和8年2月21日(土)など、入試の具体的な日程が確認できます。詳細は9月に発表予定ですので、確認してください。

(2) 都立高等学校のwebページ

9月以降、実施要綱の公表後に入試関連情報が掲載されます。特に推薦入試に関しては、各校独自の傾向があるため、こまめに確認が必要です。

(3) 私立高等学校のwebページ・配布や掲示される受験情報誌

都立高等学校に比べ、早い段階でwebページや情報誌で入試情報が確認できます。今年度より募集が停止・コース等が変わる学校、説明会に参加すると入試のポイントなども教えてもらえる学校など、多岐にわたる情報が掲載されています。少しでも興味のある学校は早めに確認してください。

(4) 直接、高等学校に行ってみる

私立高等学校では、説明会参加時に受付カードをもらったり、記名したりすることで、訪問の履歴を残すことが大切です。個別相談会を実施する学校もあるので、積極的に活用しましょう。その際、入学するのは生徒の皆さん自身です。保護者が質問ばかりするのではなく、生徒の皆さんも積極的に話し、学校への熱意を伝えましょう。高等学校を訪れる際は、公共交通機関を利用する、携帯電話などの不要物を持ち込まないなど、二中のルールを守って参加してください。

☆進路に関する情報は日々更新されます。計画的に情報収集を行い、志望校決定に向けて準備を進めましょう！